

## 令和4年度 第3回川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会摘録

開催日時：令和4年12月16日(金)

13時30分～15時30分

開催場所：教育文化会館 ロビー及びイベントホール

出席者：〈委員〉山澤委員（部会長）、永野委員、権守委員、野口委員、杉山委員、  
箕輪委員

出席者：〈事務局〉宮館館長、北村分館長、小島分館長、石田課長補佐、関口課長補佐、  
高橋主任（記録）

欠席者：〈委員〉村社委員（副部会長）、石井委員

傍聴者：0名

### 1 開会

### 2 事務連絡

傍聴0名。欠席の委員2名。8名中6名の出席で過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項による。配布資料の確認

### 3 館長あいさつ

### 4 議事

#### (1) 教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について

今回は、「カフェ」を実施・検証するため、時間の配分上、教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業については資料配布のみとし、第4回目の専門部会の概略を関口課長補佐より説明した。

**箕輪委員**）2月の選考会のために何か事前に確認する事はあるのか。

**関口課長補佐**）事前に選考会の内容や進め方について説明したい。

**箕輪委員**）前回は何団体の提案があったのか。

**関口課長補佐**）5団体の提案があった。後日選考会についての資料を送付する。

#### (2) 研究テーマについての意見交換

1階イベントホール前のスペースを利用した「カフェ」（お茶を提供しない「居心地の良いフリースペース」）を見学・参加者と対話した後、研究テーマについて意見交換を実施。

**山澤部会長)** 1人ずつ「カフェ」に参加した感想をお願いしたい。

**永野委員)** 市政だよりを見て参加した人と話した。1人でよく講座に参加する等積極的に活動している人で話が弾んだ。「カフェ」が良い繋がり場の場づくりになると感じた。1人で「カフェ」に参加する人に何が出来るか考えたい。

**権守委員)** 「寺子屋」にも参加している男性から席の配列についての意見があった。また、傾聴ボランティア「やすらぎ」の人とも話し、色々な話を聞くことが出来、「カフェ」が良い交流の場になると感じた。大師プラザでの「カフェ」の活動も見たいと思った。

**野口委員)** 市政だよりを見て参加した人と話した。宮前区の人で様々な活動をしていて、話が弾んだ。また「カフェ」を実施した時には参加したいと言っていた。今回は席を固定して話をしたが、途中でメンバーを変えても良いと思う。

**箕輪委員)** 宮前区の人と傾聴ボランティア「やすらぎ」の2人と話した。傾聴ボランティア「やすらぎ」の活動や地域包括支援センターの話を聞き、同じ地域でも知らないことがある事が分かり、とても勉強になった。

**杉山委員)** 講座で知り合ったという2人と話した。とても社交的な人達で話が弾み、色々なきっかけで繋がりが広がる事を改めて確認した。

**山澤部会長)** メンバーチェンジをしてはどうかとの意見があり、試してみたが、こちらから促すことも必要だと思う。参加者との話の中で幅広い世代向けの講座やフェイスケアなども取り入れても良いのではないかと思った。今回の「カフェ」を通じて色々な情報を得ることが出来た。

**箕輪委員)** 多世代向けの雰囲気づくりをして子育て中の人も加われれば、お互いの知恵の交流もできると思う。そのためには、子どもを遊ばせたり授乳できる場所があれば良いと思った。

**山澤部会長)** 保育があると参加できる世代が広がる。子育て世代が先輩から学ぶことも出来る。1人で参加する人への対応も重要であると考えます。

**永野委員)** 子どもとの会話も何か作業を通して行くとスムーズになる。折り紙等ツールがあっても良いと考える。

**箕輪委員)** 話のきっかけづくりが難しいと感じた。前回の意見にもあったが、何か作業をしながらの方が話のきっかけも出来てスムーズに進むと思う。

**山澤部会長)** 受け入れる側が何か作っても良いし、参加する人が例えば編み物等を持ってきても良いと思う。多様な形態の「カフェ」があっても良い。

### (3) その他

**宮舘館長)** 次回、第4回は令和5年2月19日(日)13時～、市民自主学級・市民自主企画事業の選考会と併せて専門部会を実施する。